

別紙4（第5条関係）

温室効果ガス削減効果計算表

1. 基本事項

	給湯器種別	燃料種別	追焚機能の有無	給湯器効率の種別	メーカー	型式
導入機器						
既存機器						

給湯器種別：電気温水器、エコキュート、ガス給湯器、エコジョーズ、ハイブリッド給湯器、石油（灯油）給湯器

燃料種別：電力、都市ガス、LPG、灯油

追焚機能の有無：有・無

給湯器効率の種別：年間給湯保温効率（JIS）、年間給湯効率（APF）、モード熱効率、エネルギー消費効率、連続給湯効率

2. 温室効果ガス削減効果算定

(1) 導入機器

$$1 \div \left(\boxed{} - \boxed{} \right) \div \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{\text{①}} \frac{\text{kg-CO}_2}{\text{計量単位}}$$

(給湯器効率) (指標間比較係数) (標準発熱量) (排出係数) 小数点第6位四捨五入

(2) 既存機器

$$1 \div \left(\boxed{} - \boxed{} \right) \div \boxed{} \times \boxed{} = \boxed{\text{①}} \frac{\text{kg-CO}_2}{\text{計量単位}}$$

(給湯器効率) (指標間比較係数) (標準発熱量) (排出係数) 小数点第6位四捨五入

(3) CO2削減率

$$\left(1 - \boxed{\text{①}} \frac{\text{kg-CO}_2}{\text{計量単位}} \div \boxed{\text{②}} \frac{\text{kg-CO}_2}{\text{計量単位}} \right) \times 100 = \boxed{} \%$$

小数第3位四捨五入

- ※ 使用日数や使用時間等、機器の使い方によるCO2削減効果は含みません。
- ※ 給湯効率（年間給湯器効率又は年間給湯保温効率）はカタログ等のメーカー公表資料でご確認いただくか、メーカーや取扱業者等にご相談ください。
- ※ 既存の機器（対象の住宅においてこれまで使用していた機器）がある場合は、カタログ値から給湯効率を参照してください。
- ※ 新築等で既存の機器が存在しない場合は、旧住宅で使用していた機器と比較してください。旧住宅に比較できる設備がない場合、以前に製造されていた同程度の定格能力の機器を既存設備として設定してください。
- ※ 既存機器の給湯器効率が分からない場合は、以下の数値を使用してください。
 - ・ 給湯器種別：ガス給湯器
 - ・ 燃料種別：都市ガス
 - ・ 追焚機能の有無：有
 - ・ 給湯器効率の種別：モード熱効率
 - ・ 給湯器効率：0.78

※ 指標間比較係数について、以下の表に定めた数値を記入してください。それ以外の場合は0と記入してください。

燃料種別	追焚機能の有無	給湯器効率の種別	指標間比較係数
電力	有	年間給湯効率 (APF)	0.7
電力	無	年間給湯効率 (APF)	0.5
都市ガス	有	エネルギー消費効率	0.064
都市ガス	無	エネルギー消費効率	0.046
LPG	有	エネルギー消費効率	0.064
LPG	無	エネルギー消費効率	0.046
灯油	有	連続給湯効率	0.081
上記以外の場合			0

※ 標準発熱量及び排出係数は以下のとおりです。

	電力	都市ガス	LPG	灯油
排出係数	0.423 $\frac{\text{kg-CO}_2}{\text{kWh}}$	2.05 $\frac{\text{kg-CO}_2}{\text{m}^3}$	6.53 $\frac{\text{kg-CO}_2}{\text{m}^3}$	2.50 $\frac{\text{kg-CO}_2}{\text{L}}$
標準発熱量	3.60 MJ/kWh	39.75 MJ/m ³	94.45 MJ/m ³	36.6 MJ/L

※ 電力以外の排出係数は、環境省温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の係数を使用しています。

※ 電力排出係数については、募集開始時直近の関西電力の調整後排出係数を使用しています。

※ 標準発熱量は、資源エネルギー庁エネルギー源別標準発熱量・炭素排出係数一覧表を使用しています。